



## 23号の主な内容

平成三十年度定時総会開催	2
2018年度新組織かたまる	2
都市にとって大切な景観	4
最近思うこと	5
女性が活躍する場を！（女性会員のつどい）	6
グローバルシティつくば	7
春季剪定講習会	7
付記・ご案内	8

## 平成三十年度定時総会開催

公益社団法人つくば市シルバー人材センターの平成30年度定時総会が、本年6月28日午前10時市内の市民ホールとよさとで開催されました。

(総会) 来賓の毛塚幹人つくば市副市長および塩田尚つくば市市議会議長からご挨拶を賜り、水野忠幸つくば市福祉部部長、中根英明つくば市高齢福祉課長のご紹介がありました。

会場では、平成29年度および30年度の事業報告、事業計画、収支決算や予算が報告され、また承認事項はいずれも承認されました。

課題としては、会員の減少をいかにおさえ、また、単一化傾向の就業の幅をいかに拡げられるか、役職員で一層取り組む姿勢が示されました。



安全標語表彰、最優秀賞の岩田光男さん  
“事故招く あせる気持ちに ゆとりなし”

## 〈毛塚幹人つくば市副市長のご挨拶〉(要旨)



本日は、定時総会が開催されましたこと、心からお喜び申し上げます。そして、会員の皆様には、日頃から市政全般にわたり格別のご理解とご協力をいただいておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

つくば市では平成30年3月に策定したつくば市高齢者福祉計画(第7期)に基づき高齢福祉政策に取り組んでおります。高齢者が今までに培った技術や知識を生かした仕事の確保を促進し活躍できる環境を作っていく上で、会員の皆様が樹木の剪定や草刈り等の就労、地域でのボランティア活動をされている姿は、生きがいのある、安心して暮らせるまちを目指す大きな力となっております。

また、子育て支援の一環として、一時預かり事業を行うことで市の少子化対策に貢献していただいておりますこと、大変感謝しております。このように多岐にわたる皆様の活動が、地域を活性化しているものと確信しております。

今後もセンター事業の一層の発展と、会員の皆様のご健康とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

## 2018年度新組織かたまる

このたび組織改編を行い、これまでの5部会組織から3部会組織に改編することで、重点課題に対して密度の濃い姿勢で取り組むことが可能になります。かつ、広報部会は総務部会管掌に、女性部会は事業部会管掌の委員会として再出発することにより、事業運営をスムーズに展開することができそうです。また、組織を硬直させることなく身軽に事業展開を可能にするため、環境変化に伴って組織を見直す必要があります。

今回の改編の目的と意義は自主・自立・共働・共助の基本理念に基づき、安定的な財務体質及び事業運営を図るため、3部会体制に集約することになります。これにより、会員・理事会・事務局の情報伝達がスピードアップされ、お互いの連携強化につながります。あわせまして事務局の体制も明日のシルバー人材センターを目指し、会員の顧客満足度を向上すべく、人心を一新することになりました。事務局員の役割分担を確立して、義務と責任を明確にします。風通しを良くして、業務に支障をきたすことがないよう相互連携を強化します。



## 〈都市にとって大切な景観〉

住宅街に必ずある公園、ブランコ、シーソー、すべり台等の遊具類、また砂場や樹木など植栽類や、つくばセンター広場、TX各駅の駅前にある広場／駅前ロータリー、いわゆる都市施設や緑地帯の整備や維持管理などを担当として受け持っているつくば市建設部公園・施設課にお伺いしました。課長の吉原利夫さんをはじめ4名の方にお会いし、仕事の内容などをいろいろとお教えいただきました。その事業はかなり幅広いものです。



建設部公園・施設課 課長の吉原利夫さん

市内には185か所の都市施設がありますが緑地帯を入れると合計350か所にもおよぶ公園と施設があり、しかも年々増加傾向にあるとのことですが、所属している課の職員は10名ほどですが維持管理は業者に委託され、清潔に綺麗に維持管理されています。多忙な時期は、雑草が生い茂る夏場と年度末あたりがピークになるようです。シルバー人材センターでは公園の草刈りと植栽の剪定などの委託業務に大勢の会員が従事しています。市民からの要望も結構あるようで、たとえば植栽されている木々の枝がずいぶん伸び



公園の草刈り、防護ネットの向こう側は車道です

ているので切り詰めたらとか、吹き寄せられた枯葉を片付けたらとか、その他さまざまなご意見をいただきます。つくば市は他の都市と比較すると外国の方が多く住んでいます。施設や場所などを日本語と英語の両方を併記するようにしているそうです。国際都市ならではの外国の方々への心配りといえるでしょう。

シルバー人材センターでは、つくばエクスプレス（TX）つくば駅の近くにある市営の駐輪場施設で16名の会員が就業の機会をいただいています。多くの市民が利用していて、元日を除き



TXつくば駅の近くにある駐輪場、会員の小杉晴彦さん



駐輪場受付、自転車が二段に駐輪されているのが分かります  
近くに数か所駐輪場が設置されています

一年中シフトを組み朝6時から深夜0時までの間、交代制で自転車をお預かりしています。

つくば市は日本が誇る「研究学園都市」であり、世界が注視している都市の一つでしょう。世界の学者・科学者たちが行き来しているこの街を清潔・綺麗に整備・維持するなどの管理をこれから継続していただきたいと思えます。

## 最近思っていること

谷田部地区 田中孝紀

小学校の新学期、新一年生が胸に大きな名札を付け登校する光景を見るのが少なくなかった。それもそのはず、最近の事件は個人の住所、連絡先の情報が洩れストーカー、詐欺、殺人事件等悪用されるケースが多いと報道されている。

私自身の周辺でも学生時代の同窓会名簿、現役時代の職場のOB会名簿、趣味の集まりの会員名簿の殆どがこの世から消えた。冊子のページをめくりながら旧友、古い職場の同僚上司の消息を追う機会も少なくなかった。当シルバー人材センターでは活動の方針の一つに、地区毎にネットワークづくりをし、活性化を図ることを掲げている。会員相互の意見や問題点を話し合い、情報を共有することが肝要としている。会員同士が連絡を取りあうために名簿を作り配布しようとしたがどうも現下の事情では難しいようだ。

事務局から私のところに、個人宅から草取りの作業依頼伝票が届いた。日程、作業内容を確認しようと電話をしてもなかなかからない。仕方なく注文

主の自宅まで行くと、先刻電話が鳴っていたがオレオレ詐欺があるご時世でもあるので、電話にできるだけ出ないように」とお話しされていた。作業注文をするときは電話を使ったのにと少々もどかしさを感じることがある。受話器を取らないことが最近の防犯常識らしい。独居老人、留守宅、空き家等様々な依頼があるが、表札のない家も多い。ご時世といえ地域住民とのコミュニケーションを図り共働、共助を提唱するタテマエと現状のホンネのギャップを痛感している。

## 田中孝紀さんと 女性会員の活躍

田中さんは谷田部地区の地区長として活躍していますが、仕事面では草取・除草、剪定・草刈り、つくば市の高齢者日常生活支援事業のすけっとくんの依頼作業も行なっています。

田中さんのチームは男性、女性会員が半々くらい。忙しい季節に入りますが、気を配ることは熱中症対策と語ります。こまめな休憩と水分補給が大切です。それに睡眠を充分にとること、飲酒はほどほどに。いわゆる自己管理



左から田中孝紀さん、大野保江さん、大塚千恵子さん

を徹底することです。女性会員と作業している現場を訪ね、忙しいところお話しを伺いました。からだは動くうちには頑張りましょう。女性会員の皆さまと一緒にやりませんか、どうぞ気軽に事務局までお問合せください。

## 〈女性が活躍する場を！〉 女性会員のつどいスタート

つくば市シルバー人材センターが最重要課題の一つとしているのが、女性会員の獲得と活動の場です。高齢化、介護、病気治療、日常生活など身近な問題が重荷になって、女性が活躍する場所を狭めています。どうすれば女性会員のみなさんにセンターの事業や行事に少しでもかかわっていただけるのか、かねてから危機感をもっていた関係者たちが女性会員に呼びかけて、6月15日開いたのが第一回「女性会員のつどい」です。第一部が多くの女性が直面している問題をテーマにした講演会「どうやって支える！高齢者の生活と介護」、第二部は講演の内容にもとづいて、みなさん共通の話題で話しあおうという茶話会でした。センターから43名の会員と事務局スタッフが参加したのは、問題に対する関心の高さを表しています。講演では、つくば市保健福祉部地域包括支援課の女性講師三名から、つくば市における高齢者の概要、認知症の予防と治療、成年後見制度、介護保険制度、相談支援体制などについて明快な説明がおこなわれ、日



女性会員による手作り作品の展示



講演会場では関心をもった男性会員の姿も

頃は気づかなかったポイントを教えていただいたことは、貴重な経験となりました。女性会員から次はより具体的な成果に結びつくステップを期待したいというものでした。



今年5月12日、13日に市内で開催された「つくばフェスティバル2018・国際交流フェア2018」

## 〈グローバルシティつくば〉

今春、G20貿易・デジタル経済大臣会合が、2019年つくば市で開催決定が明らかにされました。2016年5月のG7科学技術大臣会合につづく朗報で、茨城県とつくば市を盛り立

てるまたとないチャンスです。昨今はグローバルの仕事の中に、多くの外国人の人たちと「ごく」普通に出会う機会が多くなりました。みなさんはつくば市に住み、研究所、企業、小学校から大学、スーパー、コンビニなどで研究や労働に携わっている人たちがいます。最近増えているといわれる市内在住外国人の人口推移を調べてみました。ベトナムが大きく伸びています。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	合計外国人 (日本人)
2018年 5月1日 現在	中国 3,068人	韓国・ 朝鮮 894人	ベトナム 572人	フィリ ピン 421人	ブラジル 353人	インド ネシア 332人	インド 325人	台湾 262人	スリラ ンカ 259人	タイ 251人	9,292人 (222,272人)
2015年 4月1日 現在	中国 2,709人	韓国・ 朝鮮 914人	フィリ ピン 318人	インド 264人	タイ 245人	インド ネシア 218人	台湾 213人	ベトナム 211人	ブラジル 188人	米国 177人	7,507人 (213,930人)

住民基本台帳人口より

## 〈趣味と実益〉剪定 〜春季剪定講習会開かれる

シルバー会員にとって、就業者数が多く人気も高い仕事の一つが剪定作業でしょう。ただこの分野は誰もが簡単にとりかかれる仕事ではなく、絶えず技術の研鑽と安全安心の意識向上が大切です。センター主催の剪定講習会は



剪定テスト中の細淵賢三会員

年二回行われます。第一回目（平成三十年度春季剪定講習会）が例年通り、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門のご好意により、構内に植生されている松を対象に行われました。5月21日～22日実技講習、5月23日は雨天順延、5月24日技能テストです。参加登録者62名中、受講者は38名、これに経験豊富な講師・補佐陣が加わりました。講習会中に繰り返し強調されたのは、安全意識の徹底です。趣味と実益もかねた剪定講習会なので、受講者の皆さんが実に生き生きとした表情を見せていたのが印象的でした。

### ＜付記＞

表紙の写真は、気品をただよわせ庭に咲いたシヤクヤク（芍薬）です。ボタン科の多年草で初夏に豪華に咲きますが、反日影が好きなのです。本草と甘草を煎じる漢方薬はこむらがえりや、足がつる人には芍薬甘草湯として知られています。左下は、つくば市ではすっかり有名になりました。農林さくら通りへの桜並木です。今年もこぼれんばかりに咲きほこりました。

### ＜ご案内＞

入会説明会は次の通り行ないます。入会をご希望の方は、直接説明会場にお越しください。  
お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

開催月日	時間	会場
8月9日(木)	午後 1時30分	シルバー 人材 センター 会議室 (大穂庁舎 3階会議室)
9月13日(木)		
10月11日(木)		
11月8日(木)		
12月13日(木)		
1月10日(木)		

・大穂庁舎以外の面接会場も計画していますが、今回のご案内には間に合いませんでした。

### ＜編集後記＞

市民の皆さんや市内の企業のかたがたにつくば市シルバー人材センターを知っていただきたくと広報部会のメンバーは広報誌「きずな」を親しみやすく見ていただき、読んでいただけるよ

うな内容充実につとめてまいりました。

昨年はメンバーの菊田潔さんが急にこの世を去ってしまいました。ご冥福をお祈り申し上げます。同時に、自分たちはこういう年代に入っているということとを改めて認識させられました。シルバーの会員の皆さんがどんな仕事に就業しているのか、職場の紹介や、どんな会社さまとお取引しているのか、また安全を最重要ととらえ剪定作業や草刈り作業に取り組んでいる様子などの紹介をしまいいりました。ご愛読いただきまして誠にありがとうございました。

VOL.24(10月15日発行)からは広報委員新メンバーの皆さんによる編集、記事、写真になります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### ◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしています。些少ではありますが執筆筆謝礼をご用意いたします。